評価のポイント

CL-3.看護実践能力：ケアする力
［30-3］急変時の家族、スタッフへの心理的支援（事例）

1．今までに自分が経験した急変場面を「ヒト」「モノ」「システム」で振り返ってみてください。

2．1で振り返る前には気づかなかったことを書き出してみましょう。

どんなときであれ、急変場面の対応で、「完璧な対応」は難しい。だからこそ、「振り返り」と「改善」を続けることが大切であるが、闇雲に振り返るだけでは、曖昧な改善計画になってしまう。改善すべきは、「ヒト」のことか、「モノ」のことか、「システム」のことか、客観的に振り返られるように思考の癖をつけて欲しい。振り返りの目的は、次からの改善に繋げるための「気づき」を得ることである。できなかったことの振り返りだけでなく、良かったことの振り返りをしておくことも、次からの改善に活かせる気づきが得られる。